

## 平成31年度 和水町病院事業会計予算

当院の平成31年度当初予算の概要をお知らせします。

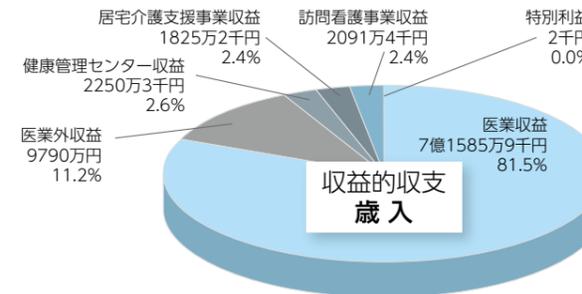
まず、当院のような公営企業では予算を「収益的収支」と「資本的収支」の2本に分けて作成しています。

### ①「収益的収支」

「収益的収支」とは企業の経営活動に伴って発生するすべての収益と費用に關係する予算となります。

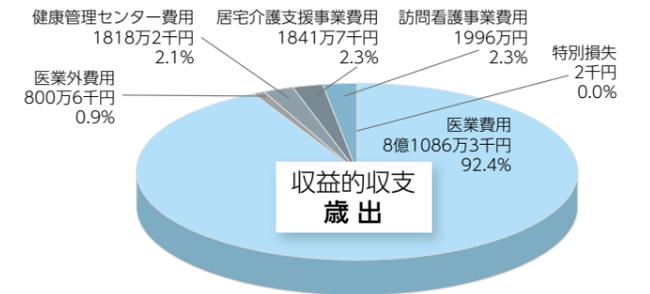
**歳入 8億7,543万円**

収益的収支の歳入は、医業収益、医業外収益などがあり、その大部分を医業収益が81.5%と占めています。



**歳出 8億7,543万円**

収益的収支の歳出は、医業費用が92.4%を占めています。医業費用の中には、職員の給与費、診療に要する材料費、施設を維持管理するための経費、減価償却費などが配分されています。

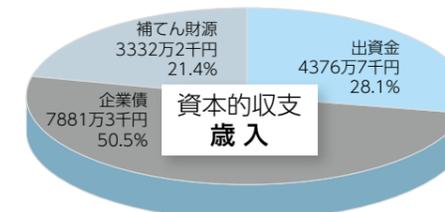


### ②「資本的収支」

「資本的収支」は建物、施設の建設、医療機器といった支出の効果が、次年度以降に及ぶものや企業債（借入金）の元金償還などの費用とその財源となる収入に關係する予算となります。

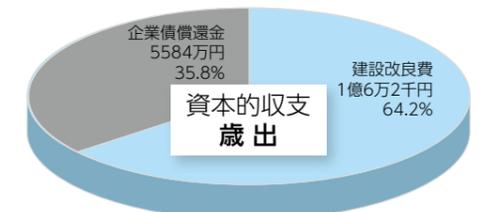
**歳入 1億2,258万円**

資本的収支の歳入は、出資金が28.1%、企業債が50.5%、補てん財源が21.4%となります。



**歳出 1億5,590万2千円**

資本的収支の歳出は、建設改良費が64.2%、企業債償還金が35.8%となります。建設改良費の中には除細動装置や人工呼吸器といった医療機器購入費や、病棟の空調設備の工事等を予定しています。



※資本的収支の歳出に対する不足額3,332万2千円は補てん財源（内部留保資金など）で補てんします。

### 繰入金について

平成31年度の繰入金総額は、2億1795万8千円です。総務省からの繰出基準に基づき、1億7419万1千円を収益的収入（医業収入と医業外収入）、4376万7千円を資本的収入に配分する予定です。

この繰入金は、病院の改築や医療機器の購入などの経費（公営企業の経営により得た収入で充てることが適当でない経費）や、不採算地域の医療や救急医療などに充てる経費（地域性や診療科の不採算性などの性質により、能率的な経営を行ってもその経営の収入に充てることが困難な経費）に対して国が自治体病院がある町に対して、病院事業に充てるために交付しているものです。

平成31年度の企業債（借入金）の見込額は、次のとおりとなっております。

### 【企業債（借入金）の見込額】

（単位：千円）

H30年度末残高	H31年度借入額	H31年度償還額	H31年度末残高
383,962	78,813	55,840	406,935

以上、平成31年度当初予算の概要です。経営状況が厳しい病院も多く、当院も例外ではありません。人口減少や少子高齢化が急速に進展する中で、医療需要が大きく変化することが見込まれています。しかし、当院は和水町の公共の医療機関として、住民の皆さまに安心と安全な医療を提供し続けていきたいと思ひます。

問い合わせ先 和水町立病院 ☎0968・86・3105

## 菊水中学校



①校長 福島英士郎  
②教頭 栗田美誠  
③教務主任 林竜太郎  
④1年1組担任 小林美幸  
⑤1年2組担任 志水玲之  
⑥2年主任 城戸千鶴  
⑦2年1組担任 小山忠仁  
⑧3年1組担任 竹下一俊  
⑨3年2組担任 定松輝美  
⑩ふなやま学級担任 目久美和美

⑪なごみ学級担任 堀川智恵  
⑫教諭 船津清  
⑬講師 高木泰幸  
⑭養護助教諭 平山幸恵  
⑮事務職員 米村理沙  
⑯栄養教諭 徳永早織  
⑰学習支援員 大山三保  
⑱施設管理支援員 米田景一  
⑲心の教室相談員 深浦ゆかり  
⑳司書補助員 高谷和生



## 三加和中学校



①校長 益崎慎司  
②教頭 平島勇人  
③教務主任 坂井ルミ  
④1年主任 佳幸  
⑤1年1組担任 富田仁美  
⑥2年主任 前田信乃  
⑦2年1組担任 藤岡志乃  
⑧3年主任 池田完治  
⑨3年1組担任 坂西由美

⑩3年1組担任 高田辰子  
⑪3年1組副担任 小山哲功  
⑫やませみ学級担任 西澤園香  
⑬かわせみ学級担任 清田のぞみ  
⑭養護助教諭 和久田真樹  
⑮事務職員 永野佳奈  
⑯栄養職員 橋本綾  
⑰特別支援教育支援員 松尾弘美  
⑱施設管理支援員 大城戸正剛  
⑲英語指導助手 原賀美香  
⑳心の教室相談員 高田辰子



## 健康を願って

～新1年生に布ぞうり寄贈～

3月26日、教育長室で、星の子会（代表：星子澄代さん）が、健康布ぞうりを寄贈しました。地域活動の一環として、星の子会が毎年行っているもので、和水町内全小学校の新入児童（79人）に、今年も色とりどりのかわいらしいぞうりが届きました。星子さんは、「素足に近い感覚の布ぞうりを履くことで、足の指の力も強くなります。健康のためにも、ぜひ履いてください」と話しました。



布ぞうりを寄贈した星の子会の皆さん